

試験学習の取り組み方

～ 「気づき」を増やすことが何よりも大切！～

「気づき」…これは、試験学習だけでなく、実際の業務、家族や友人との関係など、生きていく上でのあらゆる面で必要なものであるといえます。例えば、試験学習の領域では、例えば「自分の性格に気づく」「自分の得意・苦手分野に気づく」「制度の仕組みに気づく」などが挙げられます。これらは、他者からのアドバイス、指導、指摘によって気づくこともあります。ですが、私は、他者からのアドバイスによって気づくのではなく、自分で気づくことの方が深く理解し、確実なものとして残っていくと考えており、その積み重ねが、確実な試験合格、そしてその後の社会生活につながっていくと考えています。

テキストや講義などで、「 $A+B=C$ です。重要だから覚えなさい」といったアドバイスをもらうことがあると思います。この場合「 $A+B$ は C なんだ!」「この内容は重要だから覚えよう」と考え、覚えておこうとしましょう。この時の記憶というのは「 $A+B=C$ 」「 $A+B=C$ は重要」の2点です。試験直前期などの時間がない状態であれば、これでも良いと思います。しかし、この部分のみしか覚えていないことで、仮に本試験で「 $C-B=\square$ は?」と出題された場合に対応できないこともあるでしょう。せっかく「 $A+B=C$ 」を覚えたのに、「 $C-A=B$ 」や「 $C-B=A$ 」に対応できなかつたらもったいないですよ。

ですから、その本質や仕組みに気づき、それを理解することで、「A」「B」「C」がどのような形で問われた場合であっても対応できるようにすることが大切なのです。これは、試験学習にとどまらず、仕事や人間関係などについても同様のことがいえます。

★★★

最後に、試験学習に注目していきましょう。

試験学習にあたっては、まずご自身の「性格・行動傾向」と「得意・不得意分野」に気づき、理解するといいいでしょう。「性格・行動傾向」については、「計画性があるかどうか」と「自分のエネルギーの源は何か」に焦点をあててみましょう。ご自身に計画性がないのにもかかわらず、細かなスケジュールを組んでも、ストレスを感じ、結果としてうまくいかない可能性が高いといえます。その逆に、計画性があるのにもかかわらず、大雑把な計画で学習の進捗が不透明だと、それはそれでうまくいかない可能性が高いといえます。さらに、ご自身が苦しいときこそ力が湧いてくるとか、褒められることでのびていくといった、自分のエネルギーの源の種類を、過去を振り返るなどして理解しましょう。

この2点に気づき、理解したら、「得意・不得意分野」を抽出しましょう。そして、その内容を踏まえて、学習プランや学習方法を確立していきます。そうすることで、ご自身に適した試験学習を進めることができ、結果として試験に合格できれば、それこそが、ご自身の「合格スタイル」であるといえます。

是非、さまざまな場面でこの「気づき」を増やし、そして活かしてください。

福祉試験対策工房&ほほ屋は、FacebookやInstagramも開設しています。

 @fukusitaisaku_boboya

 fukusitaisaku_boboya

★「いいね」「フォロー」大歓迎です！是非ご覧になってください★

